



道祖土小 学校だより

校訓 明るく 仲よく たくましく
5月号 令和8年5月1日発行

〒336-0907
さいたま市緑区道祖土1-1-1
電話 048-885-2512
FAX 048-811-1328
Web <http://saido-e.saitama-city.ed.jp>
E-Mail saido-e@saitama-city.ed.jp

「誰かのために」

校長 荒木 大輔

校庭の草木が私たちに、「新緑」という彩りを与えてくれています。太陽の輝きも眩しさを増し、雲の装いの変化と澄み切った春空のコントラストが、五月晴れに相応しい爽やかな色合いを創り出しています。このような四季の変化に、自然界の優しさと力強さを感じる私ですが、道祖土小学校の子どもたちも負けてはいません。朝の登校時の子どもたちの挨拶の様子が、新学期から比べると、どんどんよくなっていることを、間近で毎日道祖土っ子を見ている「Reds Rose」が、私にそっと教えてくれています。そんな子どもたちから、「校長先生、おはようございます。」と毎日パワーをもらっている私は、本当に幸せ者です。1年生から6年生の皆さん、どうもありがとう。



そんな毎朝の登校の様子を見ていて感心することは、6年生を中心とした通学班の班長が、1年生の登校の様子を振り返りながら、1年生の歩幅に合わせて、ゆっくりと歩いている姿です。1年生を気に掛けながら、自ら手本を示すように進んで挨拶をする様相は、立派な最上級生としてのあるべき姿です。とても頼もしく感じられ、今後の学校教育活動でも大活躍が期待できそうで、今からとても楽しみです。

私は、子どもたちの活躍する姿を、毎日の授業の様子から、数多く見届けてきています。ただ、今年度4月の二つの学校行事から、改めて学校ならではの取組の大切さを実感することができました。それは、「1年生を迎える会」と「離任式」です。

「1年生を迎える会」は、149名の1年生を全校で温かく迎え、1年生が早く学校生活に慣れてもらうために行います。そこで行われた、全校で歌った校歌の歌声や2年生が自分達で育てた朝顔の種が入った手作りのペンダントを1年生の首にかけてあげる様子には、どれも「1年生のために」という優しい想いが詰まっていました。

「離任式」では、去られた先生方を思い出しながら心を込めて書き綴ったお手紙と心のこもった校歌をプレゼントする姿や、離任された先生方の話を耳だけでなく全身で聴き取っている真剣な態度に、お世話になった「先生方のために」という真心がこもっていました。

学校は、学力を身に付ける場です。教育基本法に基づいても「義務教育として行われる普通教育は、各個人の有する能力を伸ばしつつ、社会において自立的に生きる基礎を培う。」とあり、子ども一人ひとりの問題を解決する「学ぶ力」をはぐくまなければなりません。ただ、子どもたちが見せてくれた「誰かのために」という「思いやり」の気持ちや「おもてなし」の精神は、「国家及び社会の形成者として必要とされる、基本的な資質を養う。」といった、上記の法律に付随する義務教育の目的の一つでもあるのです。まさしく、人が生きて働く上で必要とする、AIでは代替することのできない、「豊かな人間性」ではないでしょうか。「誰かのために」子どもが活躍する、そんな学校でなければ学べない教育活動の実践に、今後も機を捉えながら、積極的に取り組んでまいります。

例年に準えると、ゴールデンウィーク以降、急激な気温の上昇が予想されます。子どもたちは、暑さにまだ、身体が十分慣れていない中で、5月のスポーツフェスタに向けた、学年・学校全体での練習を行います。是非、お子様の規則正しい生活（特に「早寝・早起き・朝ごはん」）への御協力を、よろしくお願いいたします。